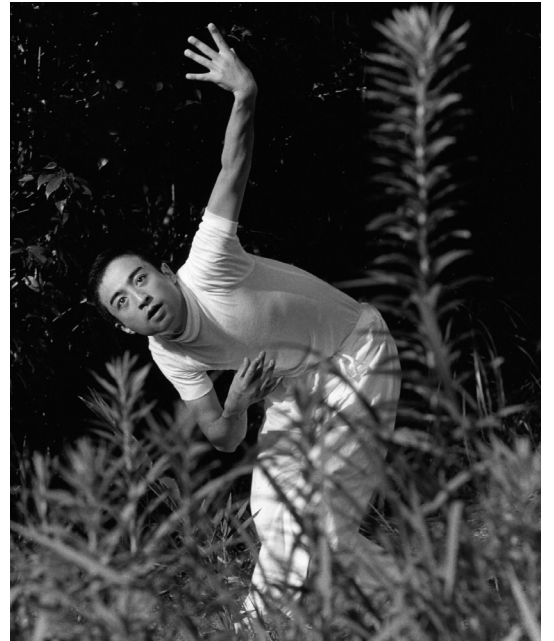


新井 英夫

Hideo ARAI

ダンスアーティスト/体奏家。幼少から落語に親しむ。町中での大道芸パフォーマンス・十五夜野外劇などユニークな劇団活動を主宰、のち独学でダンスに。まち・人・自然をつなぐことを一貫したテーマに活動を行っている。野口体操を創始者野口三千三氏から学び、「お手本は自然界」という「力を抜くからだ観」に深い影響を受ける。1997年より国内海外でのダンス活動を本格開始。音楽家や美術家との国際共同制作も多数。公演活動との両輪として、障がいのある方・乳幼児～高齢者の方まで幅広い対象に向けた「からだからダンスを発見する」ワークショップを展開中。現在まで山形大学・天理医療大学、2015年より国立音楽大学、2017年より立教大学にて非常勤講師、「身体とコミュニケーション」をテーマとした演習科目を担当。

所属カンパニー DANCE-LABO KARADAKARA
ホームページ <https://wikiwiki.jp/jcdnmdfj/ARTIST/AraiHideo>
連絡先(担当) 新井英夫
電話 090-6027-7948
E-mail arai-lab@d5.dion.ne.jp
在 住 地 東京都北区
出 身 地 埼玉県さいたま市



〈日本カナダ4都市巡演滞在型国際共同制作ダンスプロジェクト「fLight」より〉
Photo: Cylla Von Tiedmann

活動歴

〈2000年〉日本カナダ4都市巡演『fLight』(国際交流基金助成事業)
〈2002年〉日本カナダ4都市巡演『Gravity』(東京国際交流財団助成事業)
〈2003年〉ハンガリー芸術祭招聘『遥春』(ブダペスト/国際交流基金助成事業)
〈2004～05年〉オーストリア・日本5都市を巡演『TaMaMu』(EU市民交流年事業)
〈2007年〉『aXes』(東京/カナダ)
〈2008年〉古民家再生日米共同ダンスプロジェクト『Izu House』(静岡)
〈2009年〉雪景野外ダンス『天空郵便』(越後妻有09冬招聘/新潟)

〈2010年〉米国の移築日本家屋でサイトスペシフィックダンス『Japan House』(フィラデルフィア)
〈2011年〉雅楽×ダンスプロジェクト『月を奏でる花を踊る』(和歌山)
〈2013～15年〉親子のための音楽&ダンス作品『字のない手紙』(川崎・松本・札幌/公共ホール主催事業)
〈2009～13年〉ダンス及びダンス支援事業アーティストとして全国のべ11カ所にて公演とワークショップ・アウトリーチを実施。
〈2017年〉親子のための音楽&ダンス作品『ぼっぼオルガン』(松本/公共ホール主催事業)

〈2002年〉県立横浜南陵高校健康福祉コース特別授業(神奈川)
〈2005年～継続) NPO法人ARDA主催「高齢者施設アートデリバリー」他(都内各所)
〈2007年～継続) NPO法人ARDA主催「保育園幼稚園児対象子どもふれあいアート」(東京港区)
〈2008年～継続) NPO法人芸術家と子どもたち主催「小学校へのアウトリーチ・ASIAS」 「児童養護施設でのダンスWSと公演・PKT事業」他(都内各所)
〈2012年～継続) 地域福祉作業所「カブカブ」働く成人障がい者対象のダンス(神奈川)
〈2012年～継続) 可見市文化創造センター ala主催「まち元氣プロジェクト」乳幼児親子・高齢者・不登校児童生徒対象(岐阜)
日本各地で他多数

ワークショップ歴

〈1997年～継続) 東寺尾幼稚園「親と子の体奏」(神奈川)
〈2001年) 知的障がい者施設いくせい「表現あそび」(広島)

可能なワークショップ等のスタイル

バリアフリーに、からだをほぐして心をほぐす。“自由形”のダンスで、互いの違いを豊かさとして認め合う場づくりを。地域のニーズに合わせて、福祉・教育・社会包摂とつながるワークショップやアウトリーチを公共ホールの皆さんと共に創っていきたいと思います。

アウトリーチ

①を幼児保育園・学校(通常校・特別支援学校)・福祉施設等で、②を高齢者施設・病院・生涯学習センター等で、子どもたち・利用者対象に、③を保育士学校教員・福祉や医療介護スタッフを対象に各現場で実施可能。※内容詳細は「公募ワークショップ」参照

公募ワークショップ

①「ほぐす・つながる・ダンスであそぶ!ワークショップ」

対象：子ども・大人(親子・家族)・障がいのある方
からだ遊びからダンスを発見。自然なスキンシップや動きのコミュニケーションを簡単なルールで楽しみます。親子や三世代の世代間交流、障がい者と健常者の交流、多文化共生を目的として実施も可能。

②「ココロとからだのゆるやか健康ダンス」

対象：ご高齢の方・ゆるやかにからだを動かしたい方
参加者の身体にご負担なく、ゲーム感覚で楽しく動きます。車椅子や椅子に座ったままでも可能。その方の感性や人生経験がそのままユーモアあふれる唯一無二のダンスに。

③「表現とコミュニケーションのダンス体験」

対象：一般および表現・教育・福祉に関わる方
身体表現やコミュニケーション、健康や仲間づくり

に関心のある方に向けたプログラム。
「からだのほぐし方」や身体表現を通じた「多様なコミュニケーション手法」を丁寧にお伝えします。介護職の方へのヒントや地域でのコミュニティダンス指導者養成にも。

◎実施条件(共通)

▶参加人数：30名程度
▶アシスタント：1名(条件により要増員)
▶1日の実施可能回数・時間：2コマ ※1コマ60～120分程度
▶必要機材：音響機材(マイク・PA)
▶場所：寝転がれる床が理想的
▶対象：各項目参照
▶その他：福祉医療系のアウトリーチは現場スタッフのサポートが必要

この事業で可能な公演スタイル

レパートリー作品

『Gravity-面白い重さ-』
打楽器ライブ演奏とダンスの共演。民俗芸能的な要素とユーモアあふれる作品。自然の原動力Gravity=重力をテーマに、音・光・モノと対話する原初のからだ。
▶上演時間:30～45分 ▶出演者:3名(登録アーティスト+アシスタント兼共演者2名) ▶同行スタッフ:舞台特殊技術1名 ▶現地スタッフ:舞台監督1名、照明仕込1名、照明オペ1名、音響1名(応相談) ▶上演環境:(1)会場の広さ・形状:5間×5間以上希望(応相談)

(2)床:リノリウムあれば黒(なくても可) (3)必要機材、舞台セット:簡単な吊りもの装置(持込)、演出によってはプロジェクター

市民参加作品

『かなでるカラダから』
ダンス経験不問。子どもから高齢者まで、バリアフリーに多様な市民参加者をつくる「ダンスのひろば」。条件に合わせて「構成・演出」は柔軟に対応可。日常のモノを使ったダンスや光のアートなど見どころも満載。

▶上演時間:45分程度 ▶出演者数:3名(登録アーティスト+アシスタント兼共演者2名) ▶クリエーション参加者数・回数:最大20名程度(応相談)、2時間×5～8回程度(応相談) ▶同行スタッフ:舞台特殊技術1名 ▶現地スタッフ:舞台監督1名、照明仕込1名、照明オペ1名、音響1名(応相談) ▶上演環境:(1)会場の広さ・形状:5間×5間以上希望(応相談) (2)床:リノリウムあれば黒(なくても可) (3)必要機材、舞台セット:簡単な吊りもの装置(持込)、プロジェクター、演出によってはピアノ